
Tragedia

鳩梨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

T r a g e d i a

【Nコード】

N 1 6 0 8 B

【作者名】

鳩梨

【あらすじ】

幾つもある愛の形。彼の歪んだそれも、一つの愛の形。

舞い踊るは紅。

香しきは鉄錆の。

降れる感触は温かく。

ただただ、ボクを染めていく。

——嗚呼、なんて美しいのだろう。

キミの笑顔はもう見れないけれど。

キミの声はもう聞けないけれど。

キミはもうボクに触れてはくれないけれど。

キミはもうボクの隣にはいれないけれど。

けれど、これでキミは永遠だ。

もうキミは、流れ過ぎ去る時間と言う鎖から解き放たれた。自由なんだ。キミの美しさも、可憐さも、儂さも、そのどれもがもはや不可侵なんだ。神様ですら、キミを弄ぶことはもう出来ない。よかったね。

キミは永遠にボクに愛されつづける。大丈夫。安心して。ボクは他の奴等とは違う。上辺だけの言葉を連ねる愚図どもとは違うんだ。キミを、この命が枯れ果てようとも愛しつづけるよ。

キミは最初、泣いていたよね？

捨てられた、と。

ボクはキミを捨てないよ。ボクもキミが好きだもの。愛してるもの。キミを失いたくないもの。

さあ、後はキミを土に返してあげるだけ。

心配することは無いよ。確かに、土の中は冷たくて、寂しいかもしれないけれど。それはもう、キミじゃないんだもの。キミはもう

其処には居ないんだ。

さあ、お休み。キミだったモノ。お疲れ様。ボクたちを間違わせ
てくれてありがとう。後はもう、ボクに任せてぐっすりとお眠り。
役目を終えた君を、きつと、皆祝福してくれるさ。

勿論、ボクも祝福しよう。そして、心からの感謝を捧げよう。

——ありがとう。お休み。

——どのような美しき花も、それは永遠ではない。

いずれは枯れ、朽ちてしまう。

枯れてしまった花の美しさ。

それは、追憶と言つ名の幻影。

枯れて朽ち果てる前の花の美しさ、

それは、枯れ朽ちる前に、枯らしてしまえば、

その美しさは、

朽ちることの無い永遠の庭園で咲き誇れる。

たとえ、美しく誇り高い薔薇であろうとも、

花である以上は、枯れてしまう。

彼方で永遠に咲き誇る花には遠く及ばない。

さあ、ボクの愛しいキミ。キミは其処を気にいつてくれたかい？

嗚呼、ボクの愛しいキミ。キミは本当に美しい。

ごめんね、ボクの大事なキミ。痛かっただろう？

けれど、わかってくれ。こうしなければ、永遠は手に入らなかつ
たんだ。こうしなければ、キミはずっと、苦しみつつけることにな
るんだ。汚されつつけることになるんだ。悲しみつつけることにな
るんだ。

安らぐことは出来ないんだ。

ボクの中でキミは永遠に咲き誇るんだ。その美しい花弁を誰に気兼ねすることもなく、大きく広げられる。

其処は永遠の庭園。

永久に枯れることはなく。

悠久に朽ちることはない。

誰もキミを傷つけることは出来ない。汚すことも無い。悲しませることも無い。その零れるような笑みをずっと浮かべていられる。

——嗚呼、待っていて。ボクの愛しく大事なキミ。ボクもすぐに、そっちへ行くよ。

——庭園が朽ちたその時、其処に咲く花はどうなるのだろうか？

——庭園が庭園に存在することなど、不可能だと言いつの……。

(後書き)

言い切りますよ。

これは純愛です。

……あ、ごめんなさい。怒らないで。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1608b/>

Tragedia

2010年10月8日13時05分発行